

地域	神奈川県 横浜市	認定日	平成23年2月8日	通巻番号	3 - 22 - 098
----	----------	-----	-----------	------	--------------

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

神奈川県産新品種西洋野菜を使った、飲食店向けカット野菜の開発・販売

遊休農地を活用して神奈川県産新品種西洋野菜を栽培し、高付加価値かつ差別化が可能な商品の開発・販売を行う。

➤ 連携体

農林漁業者

(有)カトー・コーポレーション (農業)

自社農地での西洋野菜の生産に加えて、就農希望者の育成として受入れ、更に、遊休農地を活用した新品種西洋野菜の栽培に取り組み、安定供給に努める。

中小企業者

マルアキフーズ(株) (食料品製造・卸売業)

新品種西洋野菜の特性に応じた「カット野菜」の開発、及び飲食店などの需要者の要望に応じた商品開発に努め、販売拡大に努める。

サポート機関等

リレーショナルかながわ、かながわ中小企業支援ネットワーク、
(独)中小企業基盤整備機構関東支部

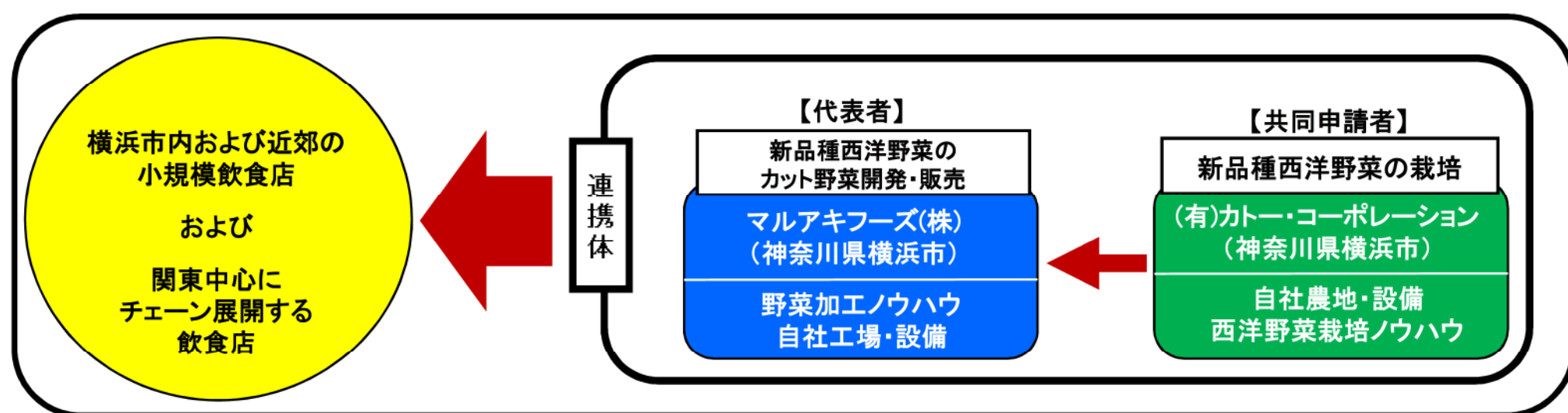
➤ 連携の経緯

付加価値の高い「カット野菜」を開発し、収益性の改善を図ろうとしていたマルアキフーズ(株)と、鎌倉近郊で新品種西洋野菜の栽培に取り組み、神奈川県産の西洋野菜を広く普及したいと考えていた(有)カトー・コーポレーションの思惑が合致し、連携に至った。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(有)カトー・コーポレーションでは、新品種西洋野菜の栽培技術確立し、あわせて就農希望者へ生産指導を行いながら、遊休農地を耕作することによって、生産体制の確立に取り組む。マルアキフーズ(株)では、野菜加工ノウハウと横浜市内を中心とした有名シェフのアドバイスを基に、飲食店のニーズに合わせた商品開発を行い、高付加価値商品の販売による、収益性の改善に取り組む。



➤ 連携による効果

農林漁業者

3年で2,200万円の売上高増加、神奈川県内遊休農地の減少、就農者の増加

就農希望者の育成と遊休農地の活用による、新品種西洋野菜の安定供給により、農業経営の向上が期待される。

中小企業者

4年で6,500万円の売上高増加、収益性の改善、新規雇用者10名以上の実現

神奈川県産新品種西洋野菜を使ったカット野菜の販売により、収益性の改善と新規雇用者の実現が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：マルアキフーズ株式会社
T E L：045-335-5595
E - m a i l：info@maruakifoods.co.jp

所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区和田2-3-6
F A X：045-335-5604
ホームページ：http://www.maruaki.com/foods/index.html